

2007年9月12日

各 位

ホソカワミクロン株式会社  
大阪府枚方市招提田近1-9  
代表取締役社長 細川 益男  
(6277)東証・大証 1部

ホソカワの DDS 開発が「第5回日本バイオベンチャー大賞」

“グランプリ”を受賞

本年9月弊社の研究開発子会社株式会社ホソカワ粉体技術研究所(会長:細川 益男、社長:向阪 保雄)が、8月の「第2回ものづくり日本大賞(優秀賞)」(経済産業省、文部科学省、厚生労働省及び国土交通省の4省庁主催)の受賞に続き、「第5回日本バイオベンチャー大賞」で“グランプリ”を受賞し、来る10月18日に授賞式が行われることになりましたのでお知らせいたします。

【日本バイオベンチャー大賞とは】

同賞は、バイオテクノロジーをベースに、果敢に新しいビジネスシーンを拓こうとするベンチャーの独創的な研究発表成果、将来性に富むビジネスモデル、斬新なバイオ関連機器・事業などの表彰を通じて、わが国のバイオ産業振興に寄与することを目的に2001年に創設されたものです。

同賞の審査委員会は、井村裕夫(財)先端医療振興財団理事長(元京都大学総長)を委員長に、わが国バイオ研究の最先端の学識経験者、バイオ産業関係団体、関係省庁の担当官を委員として構成されています。

【表彰会社の事業内容概要および表彰対象】

株式会社ホソカワ粉体技術研究所は、ナノ粒子をはじめとする超微粒子を中心とした新素材の研究開発、製造、販売による新たな事業展開を図って、平成14年10月に設立されたホソカワミクロン(株)の研究開発子会社です。

今回の表彰対象となった事業(製品、技術)は、同社独自の PLGA(乳酸グリコール酸共重合体)ナノ粒子による DDS(ドラッグ・デリバリー・システム:薬物送達システム)技術とその事業モデル、ならびに機能性化粧品等の応用製品に関する事業展開が大きく評価されたものです。

この PLGA ナノ粒子は、安全性に優れるとともに、人体になじみやすく(生体適合性)、優れた吸収性を有し、持続的に内包成分を放出するという特徴(徐放性)があるので、DDSキャリアとして様々な応用が期待されています。

同社では、この粒子に薬物等の有効成分を独自の方法でナノコンポジット粒子として、複合化処理することによって、医薬品や化粧品等への幅広い応用が可能な、機能性ナノコンポジットを作り出すことに成功しています。

特に今後、新規遺伝子治療用製剤の開発には、核酸医薬のDDSが必須となりつつありますが、この中で同社の粉体技術・固形製剤技術が応用でき、多様な製剤化（注射、経口、経皮、経肺など）が可能となりうるPLGAナノコンポジット粒子への期待は大きく、これまで動物実験において、抗がん剤や核酸医薬等のDDSではいくつかの好結果が得られており、今後のナノバイオ分野での大いなる貢献が期待されています。

現在、PLGA ナノコンポジット製剤の応用研究は多方面で進められています。

（例）アンジェス MG 社と共同研究中の難治性アトピー性皮膚炎治療薬（H18年10月発表）や九州大学大学院医学研究院と共同開発中の冠状動脈の革新的血管医療デバイス（新規薬剤溶出ステント）（H18年11月発表）等は、既に動物実験で好成績を得ています。

また、この技術を応用した製品として、美白、アンチエイジングを目的とする「ホソカワミクロン化粧品」や発毛促進剤「薬用ナノインパクト」を製造販売しており、好評を得ています。

以上、お知らせいたします。